

新潟大学医歯学総合病院

【施設紹介】

新潟市は越後平野にあり古くから港町として栄え、現在は人口約 81 万人となり本州日本海側では初の政令指定都市となっています。市内中心部の海岸付近では周囲を河川と海に囲まれた新潟島が形成されており、当院は



その中でも特に海側の小高い丘に建設され病棟からは新潟の街並みや日本海などの美しい景色が眺望できます。前身の新潟病院は 1870 年代に開設され随一の伝統を持っており、医療機関としても 1910 年の官立新潟医学専門学校の設立をはじめとして翌年には看護婦養成科を設立、1960 年には診療放射線技師養成機関である新潟県診療エックス線技師養成所が設立（現 新潟大学医学部保健学科）、臨床実習機関として多くの医療人の養成を担ってきました。



2003 年に医学部附属病院と歯学部附属病院が連携強化のため統合され現在の新潟大学医歯学総合病院と名称を改め、2022 年現在で病床数は 827 床、外来平均患者数は約 2300 人となっています。新潟県の 3 次医療圏を支える特定機能病院として種々の高度医療を行っており、高難度新規医療技術センターや臨床研究推進センターが設置されています。緊急医療面では高次救命災害治療センターを有し多くの救急車を受け入れているだけでなく、外来棟屋上にはヘリポートが設置され新潟県ドクターヘリ基地病院として離島を含む半径 50km 圏内を医療介入まで 30 分を目標に稼働しています。患者さん本位の安全で安心できる医療を提供することを目標としており、不安なく診療を受けて貰えるよう病院入口に患者総合サポートセンターを設置、また公共バスが乗り入れ可能な玄関前ロータリーやコンビニエンスストア、レストラン等が入ったアメニティーモールを設置し利便性を図っています。

【放射線部の紹介】

当初は放射線科、泌尿器科、小児科の各診療科に装置があり、診療科所属の放射線技師として従事しておりましたが、1965 年の旧東診療棟完成に伴い各装置を集結、各部員も招集さ

れ中央放射線部として設置されました。その後 1967 年に放射線部と改称され、50 年以上の長い歴史を誇る部門です。2009 年には現在の診療棟が新築され、放射線部の主な機能を診 1 階と地下 1 階の 2 フロアに集約して合理的な人材配置が可能となりました。現在の導入設備は一般撮影（4 台、救急 1 台）、歯科撮影（2 台、CBCT 2 台）、CT（3 台、救急 1 台）、血管部門（4 台、ハイブリッド OR 1 台）、MRI（3 台）、核医学（2 台、PET 1 台）、放射線治療部門（外照射 2 台、RALS 1 台、CT 1 台）となっております。新潟県内では最大規模、かつハイエンド装置を数多く備えており、特定機能病院が担う高度医療の根幹を支えています。設置当初 15 人であった部員は新規モダリティの登場や装置増加に伴い現在 42 人となり、診療放射線技師長、副診療放射線技師長 3 人、主任診療放射線技師 9 人を中心として主体的な運営を行なっています。



放射線部の目標として「多職種で協働した治療・検査の実施」、「高度な放射線治療を安全に提供」、「安心して安全な画像検査の実施」の 3 つを掲げております。これら安全文化を醸成するため各分野において医師、看護師、医学物理士との合同会議や合同研修会等が設けられており、多職種での情報共有と連携が頻繁に行われているのも当放射線部の特徴と言えます。



【サポートの充実した新人教育プログラム】

新卒の場合は入職後 6 ヶ月後に当直および休日の日直勤務に就くことを目的とした研修プログラムが導入されており、研修期間中は時間外業務で主となる一般撮影部門と CT 部門に配属されます。はじめに一般撮影部門にて研修を開始し、まもなく並行して CT 研修も開始します。2 ヶ月後以降は病棟撮影と手術室での撮影研修を開始、3 ヶ月後からは時間外業務研修として救急業務にも携わります。それぞれの研修が始まる前には各主任より研修前ガイダンスを実施し、研修開始 3 ヶ月の時点でスキルチェックシートにより中間評価を行ない習熟度の確認をします。中間評価基準を満たした後は最終段階に入り、時間外業務のサポート勤務を開始、さらに安全に関する OJT や研修会を経て、単独で業務を遂行可能になるまで各項目の研鑽を積みます。6 ヶ月後の最終評価で基準を満たしていない項目があった場合には重点的に追加研修を行うなど、各々の習熟度に合わせて独り立ちまでサポートする

充実した研修体制が用意されております。

【その後の勤務配置について】

研修修了後は一般撮影，CT，救急に配属され，日当直シフトのローテーションにも加わります。入職後1年以降は各専門分野（MRI，血管，RI，治療）への配属を開始，特に緊急業務で依頼頻度の高いMRIや血管の配属が優先的に行われます。入職後数年はローテータとして各分野を1-3年の周期で異動して各専門スキルを習熟することで，安全，安心の医療に貢献する診療放射線技師を育成しています。

【新潟の魅力】

新潟市は適度に発達した都市としての利便性とゆっくりと暮らしやすい田舎としての快適性を兼ね備えています。当院は中心部に存在しますが，出勤等に要する時間は大都市に比べ短く，時間を有効に活用することが可能です。就業時は先端の医療を学び，終業後や休日には趣味に勤しむなどのオンとオフの切り替えが容易であり，ワークライフバランスに優れた職場環境です。付近には海，山，川の自然が豊富ですのでマリッジジャー，ウインタースポーツ，流行のキャンプなど様々なアクティビティーにも気軽にチャレンジでき，有意義に休暇を活かせます。また新潟のPRに「うまさぎっしり新潟」という言葉が使われているように美しい水で育った米や酒，また新鮮な魚介が豊富なところも魅力です。近年では新潟5大ご当地ラーメンも有名で多くの店舗がありますので，食べ歩きするのもいいかもしれません。是非新潟住みを堪能してみたいはいかがでしょうか。